



はじめに

On-prem ONTAP clusters

NetApp
May 03, 2022

目次

はじめに	1
オンプレミスの ONTAP クラスタを検出しています	1

はじめに

オンプレミスの ONTAP クラスタを検出しています

Cloud Manager では、オンプレミス環境、ネットアップのプライベートストレージ構成、IBM クラウド内の ONTAP クラスタを検出できます。オンプレミスクラスタを Cloud Manager キャンバスに追加すると、Cloud Volumes ONTAP やその他のクラウドストレージソリューションと同じツールを使用して、これらのクラスタを管理できます。

これらのシステムのストレージをプロビジョニングできるだけでなく、Cloud Manager にこれらのシステムを追加することで、ハードウェアとソフトウェアの契約ステータス情報をデジタルウォレットで簡単に確認し、これらのクラスタに重要なクラウドベースサービスを設定できます。具体的には、クラウドへのデータのレプリケート、クラウドへのデータのバックアップ、クラウドへのコールドデータの階層化、そのデータに対するコンプライアンススキャンの実行です。

要件

- クラウドプロバイダまたはオンプレミスにインストールされたコネクタ。

コールドデータをクラウドに階層化する場合は、コールドデータの階層化先に基づいてコネクタの要件を確認してください。

- ["コネクタについて説明します"](#)
- ["コネクタ間の切り替え"](#)
- ["Cloud Tiering の詳細をご確認ください"](#)

- クラスタを Cloud Manager に追加するための、クラスタ管理 IP アドレスと管理者ユーザアカウントのパスワード。

Cloud Manager は、HTTPS を使用して ONTAP クラスタを検出します。カスタムファイアウォールポリシーを使用する場合は、次の要件を満たす必要があります。

- コネクタホストが、ポート 443 経由のアウトバウンド HTTPS アクセスを許可する必要があります。

コネクタがクラウドにある場合、すべてのアウトバウンド通信は事前定義されたセキュリティグループによって許可されます。

- ONTAP クラスタでは、ポート 443 を介した着信 HTTPS アクセスが許可されている必要があります。

デフォルトの「mgmt」ファイアウォールポリシーでは、すべての IP アドレスからの着信 HTTPS アクセスが許可されます。このデフォルトポリシーを変更した場合、または独自のファイアウォールポリシーを作成した場合は、HTTPS プロトコルをそのポリシーに関連付けて、Connector ホストからのアクセスを有効にする必要があります。

- ネットアップサポートサイトの有効なクレデンシャルセット。方法を参照してください ["NSS アカウントを Cloud Manager に追加します"](#)。

オンプレミスで検出されたクラスタと検出されていないクラスタを表示する

Cloud Manager の `_Digital Wallet` または `_Discovery_service` を使用すると、サポート契約を締結しているオンプレミスの ONTAP クラスタを表示、検出、管理できます。

`_Digital Wallet` からオンプレミスクラスタとライセンスの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. Cloud Manager から、`* Digital Wallet *` サービスを選択します。
2. `[* On-Premises ONTAP *]` タブをクリックします。

The screenshot displays the 'On-Premises ONTAP' section of the Digital Wallet interface. It features a summary card with three metrics: 12 Total clusters, 6 Discovered By Cloud Manager, and 6 Undiscovered. To the right, a 'Contract Notification Status' box shows 4 contracts 'About to Expire' and 8 'Expired'. Below this is a table listing 12 On-Premises clusters with columns for Host name, Status, Capacity, Software Contract, and HW Contract. The table shows various statuses including 'Discovered' and 'Undiscovered', and contract expiration dates. A 'Discover' button is visible next to the last cluster entry.

Host name	Status	Capacity	Software Contract	HW Contract
OnPremisesHostName#1	Discovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	January 1, 2025	January 1, 2025
OnPremisesHostName#2	Discovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	January 1, 2022	January 1, 2025
OnPremisesHostName#4	Discovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	Expired	January 1, 2025
OnPremisesHostName#8	Undiscovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	January 1, 2022	January 1, 2025

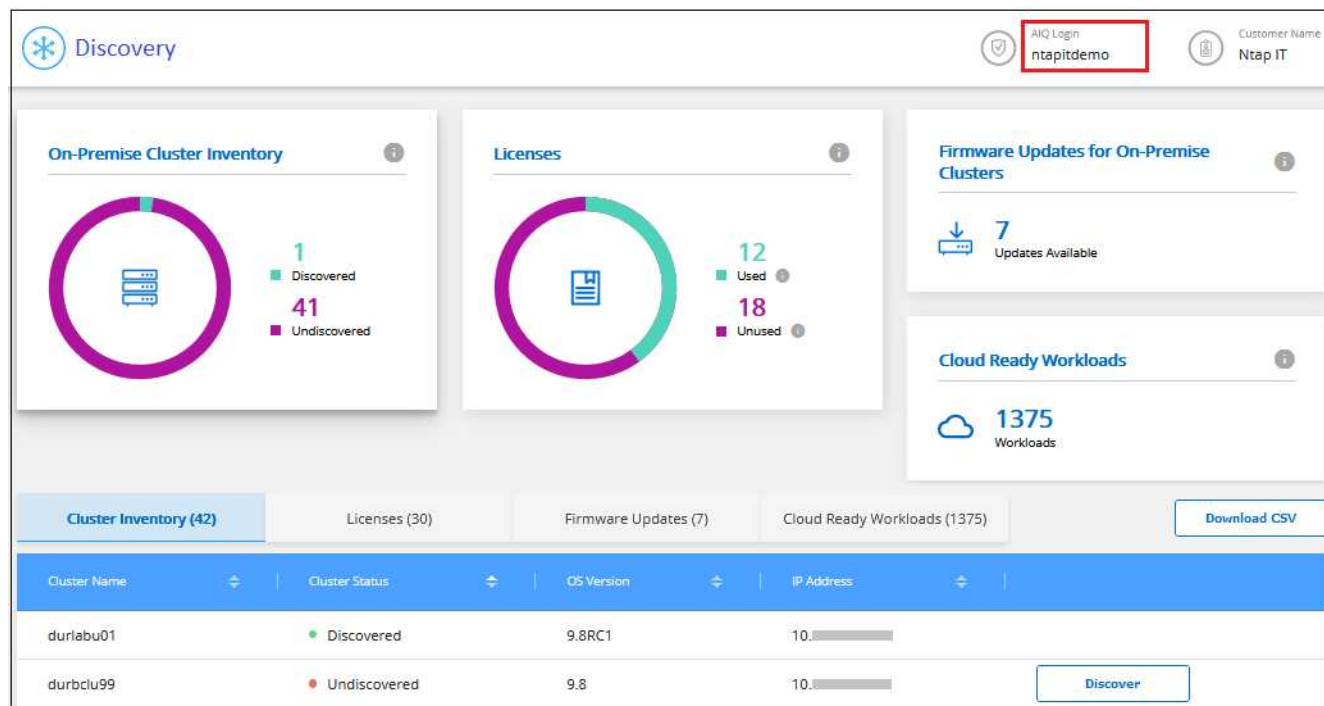
ONTAP クラスタが、Cloud Manager で検出されたかどうかのステータスとともに表示されます。

ネットアップサポートサイト（NSS）アカウントのクレデンシャルを最初に入力するように求められたら、サポートダッシュボードに入力します。アカウントを追加すると、そのアカウントに含まれているクラスタが表示されます。

`_Discovery` サービスからオンプレミスクラスタとライセンスの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. Cloud Manager から `* Discovery *` サービスを選択します。
2. 必要に応じて、NSS アカウントに関連付けられた Active IQ ログインを選択します。



有効なサポート契約がある ONTAP クラスタが、Cloud Manager で検出されたかどうかを示すステータスで表示されます。



サポート契約が期限切れになると、システムは検出ページから削除されます。ただし、これらのシステムは引き続きそれぞれの作業環境で管理できます。方法を参照してください ["Active IQ デジタルアドバイザからサポート契約を更新してください"](#)。


クラスタ情報と契約の詳細の表示

Digital Wallet _を使用して、クラスタの詳細、およびハードウェアとソフトウェアの契約ステータスを表示できます。

手順

1. * デジタルウォレット * で、* オンプレミス ONTAP * タブをクリックします。

各クラスタの行にソフトウェア契約とハードウェア契約の有効期限が表示されます。

2. 契約が有効期限に近づいている場合や期限が切れている場合は、Cloud Manager の右下にあるチャットアイコンをクリックして、契約の延長を申請できます。
3. 詳細を確認するクラスタの場合は、をクリックします  をクリックしてクラスタ情報を展開します。

12 On-Premises					
Host name	Status	Capacity	Software Contract	HW Contract	
OnPremisesHostName#1	Discovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	January 1, 2025	January 1, 2025	
<div> <div>Cluster Name</div> <div>OnPremises_Cluster_#1</div> </div> <div> <div>Cluster Management IP Address</div> <div>196.10.10.196</div> </div> <div> <div>UUID</div> <div>OnPremises_UUID_#1</div> </div> <div> <div>Support Offering</div> <div>Standard</div> </div>					

Cloud Manager からオンプレミスクラスタを検出する

Cloud Manager 内のオンプレミス ONTAP クラスタは、*Digital Wallet*、*_Discovery_service*、または *_Canvas* から検出できます。検出されたクラスタは、Cloud Manager の作業環境として使用できるようになります。これにより、クラスタを管理できます。

クラスタをデジタルウォレットから検出します

ONTAP クラスタをデジタルウォレットから検出し、作業環境として追加できます。

手順

1. * デジタルウォレット * で、* オンプレミス ONTAP * タブをクリックします。

12 On-Premises					
Host name	Status	Capacity	Software Contract	HW Contract	
OnPremisesHostName#1	Discovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	January 1, 2025	January 1, 2025	
OnPremisesHostName#2	Discovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	January 1, 2022	January 1, 2025	
OnPremisesHostName#4	Discovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	Expired	January 1, 2025	
OnPremisesHostName#8	Undiscovered	10.25 TB Used 50.25 TB Allocated	January 1, 2022	January 1, 2025	Discover

2. Cloud Manager で管理するクラスタの * Discover * をクリックします。
3. Discover ONTAP Cluster_page で、admin ユーザアカウントのパスワードを入力し、* Discover * をクリックします。

Discover OnPremisesClusterHostName#7

Cluster Management IP Address

196.10.10.10

User Name

Enter User Name

Password

Enter Password

Discover Cancel

クラスタ管理 IP アドレスは、デジタルウォレットの情報に基づいて入力されます。

クラスタのステータスが、オンプレミスの ONTAP ページで * Discovered * に変わります。

Cloud Manager はクラスタを検出し、作業環境名としてクラスタ名を使用してキャンバスの作業環境に追加します。



右側のパネルでこのクラスタのサービスを有効にして、クラスタとの間でデータをレプリケートしたり、クラウドへのデータ階層化を設定したり、ボリュームをクラウドにバックアップしたり、ボリュームでコンプライアンススキャンを実行したりできます。新しいボリュームを作成したり、System Manager を起動して高度なタスクを実行することもできます。

検出ページからクラスタを検出しています

検出ページで ONTAP クラスタを検出し、作業環境として追加できます。

手順

1. [* 検出] ページで、[クラスタインベントリ *] タブをクリックします。

Cluster Inventory (42)					Licenses (30)	Firmware Updates (7)	Cloud Ready Workloads (1375)
Cluster Name	Cluster Status	OS Version	IP Address				
durlabdu01	Discovered	9.8RC1	10.1.1.1				
durbku99	Undiscovered	9.8	10.1.1.1	Discover			
blrcclu02	Undiscovered	9.7P7	10.1.1.1	Discover			

- Cloud Manager で管理するクラスタの * Discover * をクリックします。
- _Choose a Location_page * On-Premises ONTAP * が事前を選択されているので、* Continue * をクリックします。
- ONTAP クラスタの詳細ページで、管理者ユーザアカウントのパスワードを入力し、* 追加 * をクリックします。

ONTAP Cluster Details

Provide a few details about your ONTAP cluster so Cloud Manager can discover it.

Cluster Management IP Address

170.10.15.32

User Name

admin

Password

.....

Add

クラスタ管理 IP アドレスは、Active IQ の情報に基づいて設定されます。

- [Details & Credentials] ページで、クラスタ名が Working Environment Name として追加されるので、[* Go] をクリックします。

Cloud Manager はクラスタを検出し、作業環境名としてクラスタ名を使用してキャンパスの作業環境に追加します。

右側のパネルでこのクラスタのサービスを有効にして、クラスタとの間でデータをレプリケートしたり、クラウドへのデータ階層化を設定したり、ボリュームをクラウドにバックアップしたり、ボリュームでコンプライアンススキャンを実行したりできます。新しいボリュームを作成したり、System Manager を起動して高度なタスクを実行することもできます。

Canvas ページからクラスタを検出しています

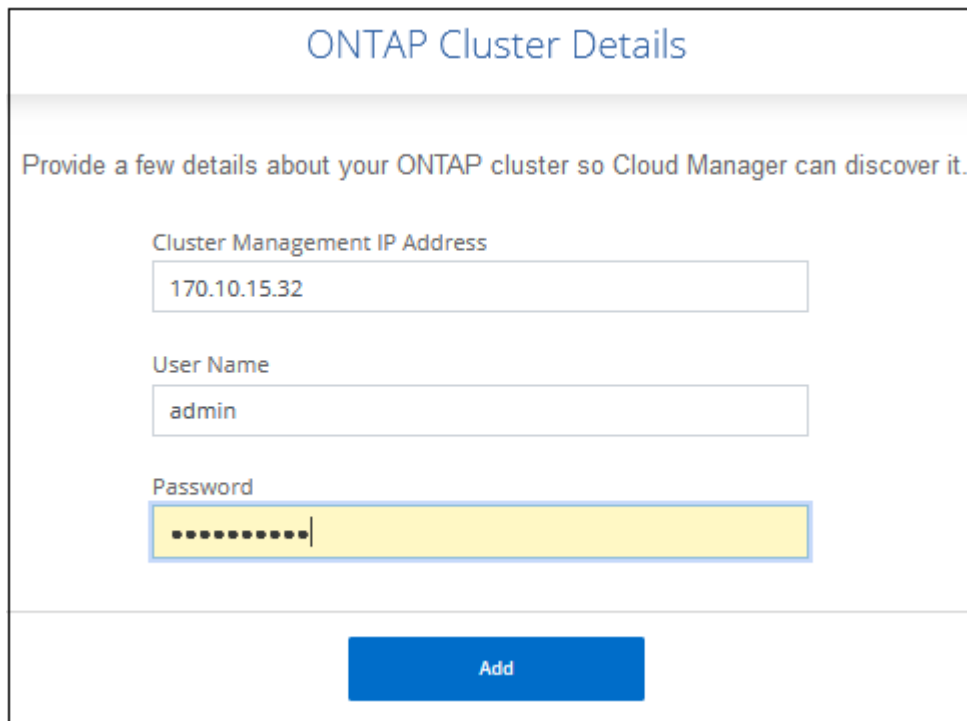
ONTAP クラスタを検出し、キャンバスページから作業環境として追加できます。これらの手順は、クラスタが現在サポート契約を結んでいないために、[Digital Wallet (デジタルウォレット)] ページまたは [Discovery (検出)] ページに表示されない場合に使用できます。

手順

1. キャンバスページで、* 作業環境の追加 * をクリックし、* オンプレミス ONTAP * を選択します。
2. プロンプトが表示されたら、コネクタを作成します。

詳細については、上記のリンクを参照してください。

3. ONTAP クラスタの詳細ページで、クラスタ管理 IP アドレスと admin ユーザアカウントのパスワードを入力し、* 追加をクリックします。



The screenshot shows a web form titled "ONTAP Cluster Details". Below the title is a light gray header bar. Underneath, a message reads: "Provide a few details about your ONTAP cluster so Cloud Manager can discover it." The form contains three input fields: "Cluster Management IP Address" with the value "170.10.15.32", "User Name" with the value "admin", and "Password" with masked characters ".....". A blue "Add" button is located at the bottom center of the form.

4. [Details & Credentials] ページで、作業環境の名前と概要を入力し、[* Go*] をクリックします。

Cloud Manager によってクラスタが検出され、キャンバスの作業環境に追加されます。

右側のパネルでこのクラスタのサービスを有効にして、クラスタとの間でデータをレプリケートしたり、クラウドへのデータ階層化を設定したり、ボリュームをクラウドにバックアップしたり、ボリュームでコンプライアンススキャンを実行したりできます。新しいボリュームを作成したり、System Manager を起動して高度なタスクを実行することもできます。

Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.